

## 第25回 Codex 臨時総会の概要

日 時：平成15年2月13～15日

参加者：50カ国、5国際政府機関、20非政府機関

## 1. 評価報告書

## (1) 全般的所感の聴取

## ① マンデート

- ・現行のマンデートを維持すべき
- ・マンデートについて更に検討する余地は残すべき。特に、Fair Practice in the Food Trade の意味を更に明確化することが必要。

## ② プライオリティー

- ・「健康と安全に影響のある規格の作成が第1プライオリティー」であることに賛成。その上で、消費者への情報提供、品質に関する問題も、重要な課題
- ・リコメンデーションに賛成
- ・健康に関係のない分野は検討対象とすべきでない

## ③ E B (Executive Board)、S M C (Standard Management Committee) の設立

- ・組織の再編を行うより、トラストファンド等を活用した毎年の総会開催が有用

## (2) ステートメント案の検討

以上を踏まえ、ステートメント案について検討。主な議論は、

## ◎ ステートメント案「第1プライオリティーは健康と安全に影響のある規格の作成である」について、次の対立

- ・「消費者への情報提供を考慮しつつ、」を追加すべき
- ・「そのような文言の追加に反対」

→「ここではプライオリティーについてのみ記載すればよく、考慮事項は今後の検討であることから、原案どおりとすべき」(事務局長)とされ、最終的には、レポートにそのような提案があったことを記載し、ステートメントは原案どおりとすることとした。

## 2. 途上国等の参加促進のためのトラストファンド

- ・トラストファンドの状況について、執行委員会及び総会に定期報告するよう要請
- ・「私企業からの拠出に慎重であるべき」との指摘に対し、事務局は「当面は私企業からは受け入れない」と回答
- ・正式にプレスリリースを行い、トラストファンドの設立を宣言